

## 1.動作概要

TeraTemに入力されたコマンド(write or read)に従って、writeコマンドの場合は入力された文字をSRAMに保存し、read コマンドの場合は SRAMに保存したデータを読み込んで teraterm に表示します。

## 2.ボード設定方法

本サンプルプログラムは下記のボードで動作確認を行っています。

評価ボード：TX03ベースボード+M4G9変換ボード+M4G9MCUボード

## 3.基本動作

TeraTemに "command >"が表示されるので、下記の write もしくは read コマンドのフォーマットに従って入力された文字をSRAM (0x00000番地)に保存し、read コマンドの場合はSRAM(0x00000番地)に保存されているデータを読み込んで teraterm に表示する。

・コマンドフォーマット：

write コマンド

write X

X:任意の文字

read コマンド

read

・UART設定：CH1,ボーレート115200, データ8bit、パリティなし、ストップビット1bit、フロー制御無し

・SRAM：IS62WV51216BLL-55TLI

## 4.出力例

```
command > write A
write data > A
```

write コマンド

A (1byte) を SRAM (0x000000) に保存し、書き込んだ

```
command > read
read data > A
```

read コマンド

SRAM (0x000000) に保存されているデータを読み込んだ

## 5.ターミナルソフトの設定例

Tera Term: 端末の設定

端末サイズ(T): 128 x 24

☒ = ウィンドウサイズ(S):

☐ 自動的に調整(W):

改行コード

受信(R): AUTO

送信(M): CR+LF

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

端末ID(I): VT100

☒ ローカルエコー(L):

応答(A):

☐ 自動切り替え(VT<->TEK)(U):

漢字-受信(K): SJIS

☐ 7bit カタカナ

漢字-送信(J): SJIS

☐ 7bit カタカナ

漢字イン(N): ^[\$B

漢字アウト(O): ^[[B

ロケール(C): japanese

言語コード(P): 932